

# 薬連ハイライト

## 全国会長・幹事長拡大会議 開催される

令和元年11月6日(水)、東京会館において、令和元年度第3回全国会長・幹事長拡大会議が開催された。司会は浜田常任総務。山本会長の挨拶後、本田議員、藤井議員より挨拶がなされた。本田議員は、10月の臨時国会では、藤井議員とともに厚生労働委員会に所属することができ、藤井議員の指導を受けながら2名でしっかり発言していきたいと述べ、藤井議員は、本日より衆議院において薬機法改正案の審議がスタートしたが、参議院に送付された場合には、2枚看板でスムーズな通過を目指したいと述べられた。続いて沖縄県の亀谷会長が座長に選出され、執行部より直近の政治課題等について報告が行われた。その後の協議においては、岩本幹事長が、3年を切った次期参議院議員選挙に向けて藤井議員の後継者を早期に決定し、体制を整えるべく全国の会長、

幹事長への協力を要請された。

## 藤井もとゆき君と語る会

会議後、同階で「藤井もとゆき君と語る会」が開催され、各方面より400名の支援者が参集した。本田議員の司会進行のもと、各種団体より祝辞が述べられた。また、松本衆議院議員、岸田政調会長も公務多忙の中駆け付けて祝辞をいただいた。藤井議員は自身の約18年間の議員生活を振り返り、薬剤師にとって、分業率が70%を超えるまでになったこと、薬学教育が6年制になったことなどを振り返る一方で、非常に厳しい国の財政状況の中で今後薬剤師がどのように国民医療に貢献し職能向上していくかしっかりと議論していかないといけないと挨拶された。その後、とかしき議員の乾杯で宴が始まり、岩本幹事長の中締めで盛況のうちに閉会となった。

## もとゆき便り

### 薬機法改正法案の審議スタート

自由民主党政務調査会会長代理  
参議院議員・薬剤師  
藤井もとゆき



台風19号による記録的な大雨により、多数の死傷者や家屋の倒壊等の甚大な被害が発生しました。お亡くなりになられた方のご冥福をお祈りしますとともに、被災された皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

さて、200回臨時国会が召集されて一月が経過しました。衆議院厚労委員会では、継続審議となっていた薬機法等改正法案の審議が再開されました。また、参議院の厚労委員会においては、加藤厚労大臣の所信を聴取し、11月7日に大臣所信等に対する一般質疑を行いました。

加藤大臣は薬機法等改正法案について、優れた医薬品等を迅速かつ効率的に提供するための「先駆け審査指定制度」「条件付き早期承認制度」の法制化や薬剤師による継続的な服薬指導の義務化などが必要なことから、本法案の早期成立を求めました。

また、健康寿命の延伸のため、疾病の発症予防や重症化防止に取り組むとともに、保険者による特定健診・保健指導や糖尿病の重症化予防を進めること。ゲノム医療・AI等の最先端技術の活用など、データヘルス改革を戦略的・一体的に推進することも表明しました。

薬機法等改正法案の早期成立に努めていくとともに、医療提供の充実に引き続き尽力して参りたいと思います。

## オレンジ日記

### スポーツファーマシストの活用

自民党女性局次長・厚生関係団体委員会副委員長  
参議院議員・薬剤師 本田顕子



東京オリンピック・パラリンピックの開催が、いよいよ来年に迫ってきました。オリンピックを日本が招致できた理由の一つに、日本がドーピングにクリーンな国であることが挙げられたと聞いています。

我が国のアンチ・ドーピング対策は、日本アンチ・ドーピング機構(JADA)が担当しています。JADAでは、薬剤師にドーピング防止活動に参加してもらおうと、「公認スポーツファーマシスト認定制度」を創設し、認定者は約1万人になったと聞いています。私もスポーツファーマシストです。

自民党には、様々な部会、調査会等がありますが、私もある時間の許す限り多くの会議に参加していますが、10月末に開催されたスポーツに関する会議では、安全・安心なスポーツに向けた現状と課題に関してスポーツ関係団体からのヒアリングが行われました。その会議で、スポーツファーマシストについて発言させていただき、その活用について他の議員から後押しという言葉いただきました。

また、日本薬剤師会は、本年2月に「アンチ・ドーピング活動保険」を導入されたと聞いております。ドーピング禁止薬に関する問い合わせに対し、安心して対応していただき、薬剤師の新たな機能を発揮していただきたいと思います。